

## 一般社団法人山口県医師会平成26年度第23回理事会

平成27年3月5日(木) 午後5時～午後7時5分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

### 議決事項

#### 1 第175回山口県医師会臨時代議員会の開催について

4月23日(木)に開催、報告事項1件、議決事項4件を審議することが決定した。

### 協議事項

#### 1 平成27年度予算(案)について

平成26年度の決算見込額の執行率に鑑み、事業計画に基づいた予算案の再協議を行った。

#### 2 平成26年度事業報告(案)について

実施事業別による事業報告について協議を行った。

#### 3 山口県人事委員会勧告に伴う本会職員給与の改定について

本会職員の給与は山口県職員の給与に準じていることから、山口県人事委員会勧告に伴い、給料表の改定及び管理職員特別勤務手当の改定を平成27年4月から実施することが決定した。

#### 4 勤務医部会シンポジウムにおける「専門医制度に関する要望」について

2月22日に開催された標記シンポジウムにおいて、日本医師会の小森常任理事より要望書提出のご助言をいただいたことから、一般社団法人日本専門医機構に対して、医師不足地域における専門研修施設に認定に対する要望を行うこととし、要望内容について協議を行った。

#### 5 第100回山口県医学会総会について

平成29年度の山口県医学会総会が第100回に当たることから、開催基本方針の協議を行った。「第100回記念大会」として本会の特別企画事業とし、企画立案は生涯教育委員会が行うことに決定した。

#### 6 集団指導の開催方法について

例年集団指導の開催会場としている山口県総合保健会館においては、平成27年度より駐車場使用台数の制限がされることから、同指導の開催場所及び開催

方法の検討を行った。また、郡市医師会へ開催方法の意向調査をすることとした。

## 人事事項

### 1 学校医部会委員について

委員1名の辞任に伴い、徳山医師会の廣田 篤先生を後任委員に決定し、辞任した委員が副部長であったことから、萩市医師会の砂川博史先生を副部長に委嘱することが決定した。

## 報告事項

### 1 山口県がん対策協議会（2月19日）

山口県では、平成25年3月から「第2期山口県がん対策推進計画」により、がんの発症予防、早期発見の重要性の周知徹底、がんに対する理解の促進のため、がん対策の推進が行われている。同推進計画の平成26年度の進捗状況及び取組状況、平成27年度の取組みについて協議を行った。（藤本）

### 2 第3回生涯教育委員会（2月21日）

医学功労賞の選考、山口県医学会総会開催地の選考、平成27年度の生涯研修セミナーの企画について協議した。医学会総会の開催地選考では、平成29年度が第100回に当たることから、開催地を山口市とし、山口市医師会に引受を依頼することが協議され、本会理事会に意見具申することとなった。（今村）

### 3 顧問弁護士・医事案件調査専門委員合同協議会（2月21日）

平成26年度に発生した事案及び過去発生し係争中の事案について、各弁護士からの経過報告、今後の検討を行った。（林）

### 4 勤務医部会「医師事務作業補助者」シンポジウム（2月21日）

本会の中村 洋 理事の基調講演「山口県の医師事務作業補助者の現状等について」後、県内6病院の医師事務作業補助者より各病院での取組みについて意見発表が行われた。その後、山口県立総合医療センター、済生会山口総合病院、山口労災病院の医師と医師事務作業補助者をパネラーに、それぞれの取組みを説明するパネルディスカッションが行われた。31医療機関、130名の参加があった。（中村）

### 5 第135回山口県医師会生涯研修セミナー（2月22日）

日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院の高山守正 副院長による「肥大型心筋症の新しい欧米ガイドラインと中隔縮小治療」、山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学分野の山崎隆弘 教授による「肝がん診療のパラダイムシフト」の特別講演2題が行われた。（吉本、河村、加藤、今村）

#### 6 勤務医部会総会・シンポジウム（2月22日）

総会では、平成26年度事業報告が行われ、その後、「専門医制度と今後の医療」をテーマにシンポジウムが行われた。日本医師会の小森 貴 常任理事による基調講演「日本医師会の考える新しい専門医制度」及び小郡第一総合病院の土井一輝院長、山口大学医学部附属病院医療人育成センターの瀬川 誠 准教授、山口県健康福祉部健康増進課の國光文乃 課長、本会の藤本常任理事の4名がそれぞれの立場から専門医制度について意見発表を行った。質疑応答がされる中、日医の小森常任理事より、山口県として専門医制度について課題があるのであれば、関係機関に対する要望書提出等の対応も必要である旨の発言があった。

（加藤）

#### 7 日医母子保健講習会（2月22日）

「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して-9」をメインテーマとして開催され、午前中は、厚生労働省医政局総務課の土生栄二 課長による「医師の地域偏在、診療科偏在について」、日本産婦人科医会の木下勝之 会長による「妊婦のメンタルヘルスについて」の講演2題が行われた。午後は「子育て支援をめぐる諸問題について」をテーマにシンポジウムが行われ、大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センターの佐藤拓代 センター長による「低出生体重児への子育て支援」、国立成育医療研究センター総合診療部在宅診療科の中村知夫 医長による「小児の在宅医療について」、rabbit developmental researchの平岩幹男 代表による「子どもの発達障害について」、さめじまボンディングクリニックの鮫島浩二 院長による「特別養子縁組の取り組みについて」の講演4題及び討議が行われた。（濱本、沖中）

#### 8 第87回山口県医療審議会医療法人部会（2月23日）

医療法人の設立認可5件、解散認可5件の審議が行われた。（小田）

#### 9 第77回中国地方社会保険医療協議会山口部会（2月25日）

医科では、新規2件（新規1件、交代1件）が承認された。（小田）

#### 10 第2回自賠責医療委員会（2月26日）

独居高齢者の交通事故による介護施設利用料補償の問題及び交通事故医療における画像診断、入院室料加算等の問題について協議を行った。（香田）

#### 11 第80回山口県自動車保険医療連絡協議会（2月26日）

交通事故医療における画像診断、入院室料加算等の問題について、損保10社及び料率算出機構と協議を行った。（香田）

12 郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会（2月26日）

保険者から平成26年度の特定健診等実施状況の報告が行われた。また、平成27年度の特定健診・特定保健指導等の実施に向けて、県医師会集合契約、各市町国保契約、県医師会請求事務代行等について協議を行った。なお、現在年2回開催している担当理事協議会は、27年度より郡市担当理事・市町担当者・保険者・県医師会の合同会議として、年1回にする方針が了承された。（藤本）

13 新規個別指導（2月26日）

病院1機関、診療所7機関について実施され立ち会った。（船津）

14 山口県麻しん風しん対策協議会（2月26日）

県内における麻しん・風しんの発生動向及び予防接種実施状況、風しん検査事業実施状況、大学等における麻しん風しんに関する取組状況について、概要報告と協議を行った。（濱本）

15 「第23回世界スカウトジャンボリー」知事感謝状贈呈式（2月27日）

本年7月28日～8月8日に開催される標記大会に対して、100万円を寄附したことから、山口県知事より感謝状が贈呈された。（小田）

16 国立大学法人山口大学第64回経営協議会（2月27日）

教職大学院の設置申請、経営協議会規則の一部改正等について審議を行った。（今村）

17 日医女性医師支援事業連絡協議会（2月27日）

厚生労働省大臣官房の福島靖正 審議官による「国における女性医師支援の取組」の講演後、6ブロック（北海道・東北、関東甲信越・東京、中部、近畿、中国四国、九州）6道県医師会（北海道、埼玉県、福井県、奈良県、岡山県、佐賀県）から、「女性医師支援センター事業ブロック別会議開催報告」として、各ブロック会議で報告された特徴的、先進的な取組みの紹介及び質疑応答と総合討論が行われた。（加藤）

18 都道府県医師会事務局長連絡会（2月27日）

横倉会長の挨拶後、平成26年度に退職又は退職予定の東京都、三重県、山口県医師会の事務局長に対して、感謝状と記念品が贈呈された。その後、日医から「医師資格証の積極的活用」「地域医療構想の策定と地域医療構想調整会議」に関する説明等が行われた。（事務局長）

19 日医学校保健講習会（2月28日）

午前中は、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課の松永夏来 学校保

健対策専門官による「最近の学校健康教育行政の課題について」、日本産婦人科医会の安達知子 常務理事による「性に関する健康教育のあり方」、日本精神神経学会「性同一性障害に関する委員会」の針間克己 委員による「いじめ問題の背景としての性同一性障害」の講演 3 題が行われた。午後は、「新たな定期健康診断を巡って」をテーマのシンポジウムにおいて、「学校保健安全法施行規則の一部改正による新たな健康診断」、「必須項目としての座高削除と成長曲線の活用」、「『四肢の状態』の必須項目とその意義」、「保健調査の充実とそのあり方」、「学校における色覚の対応について」の意見発表 5 題と総合討論が行われた。  
(濱本、今村)

20 第 3 回母体保護法指定医師研修会 (3 月 1 日)

平成 26 年 4 月 1 日に改正した「母体保護法指定医師の指定基準」に則ったカリキュラムにおいて、本年度 3 回目の研修会を開催した。受講者 16 名。(藤野)

21 レジナビフェア 2015 in 福岡 (3 月 1 日)

15 病院と山口県医師臨床研修推進センターが出展を行い、訪問学生は 266 名であった。(加藤、中村)

22 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会 (3 月 4 日)

日本医師会の小森 貴 常任理事及び日本医師会生涯教育推進委員会の倉本秋 委員長より生涯教育関連事項の報告後、「診療ガイドラインについて」をテーマにシンポジウムが行われた。(今村)

23 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会 (3 月 4 日)

4 月 1 日より実施される介護報酬改定などに関する情報の共有化のため開催され、日本医師会の鈴木邦彦 常任理事及び厚生労働省老健局老人保健課の迫井正深 課長より、改定内容や地域支援事業について説明が行われた。(河村)

24 広報委員会 (3 月 5 日)

会報主要記事掲載予定 (4~6 月号)、緑陰随筆、県民公開講座及びフォトコンテスト、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。(今村)

25 会員の入退会異動

入会 8 件、退会 8 件、異動 9 件。(3 月 1 日現在会員数 : 1 号 1,306 名、2 号 885 名、3 号 441 名、合計 2,632 名)